

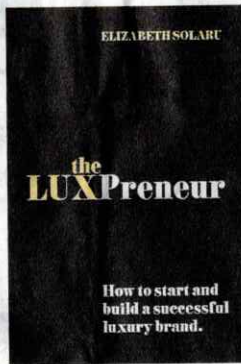
# モード Mode は語る

中野 香織

## 人生価値を格上げする起業家

エリザベス・ソラルの『ザ・リクスプレナー』を読み、著者にインタビューを申し込んだ。英国に住むラグジュアリー業界のコンサルタントであり、次世代にふさわしいラグジュアリービジネスの起業家像「リクスプレナー」を掲げる。

ラグジュアリーを単なる価格帯としてではなく、哲学としてとらえるソラル氏の姿勢に共感を抱いた。「真のラグジュアリーとは、人生を平凡なものから格上げする体験を創造すること」という哲学に基づくビジネスを起し、成功に導くためのマイ



エリザベス・ソラル著『ザ・リクスプレナー』（ECE パブリッシング、2024年）

「リクスプレナー」

ンドセットなどの助言を展開する。アントレプレナー（起業家）は社会の課題解決を目指す、リクス

プレナーは、人生を変えるほどの体験や変革的視点といった価値を提供する。アントレプレナーは市場シェアに焦点を当てるが、リクスプレナーは意味のシェアに焦点を当てる。「あなたの価値は、あなたがかなえる願望とあなたがもたらず夢によって決まる」とソラル氏は説く。

既存のラグジュアリービジネスが転換期にあるなか、世界のラグジュアリーの動向はどのようになるだろう？「『見せるためのラグジュアリー』から『知るためのラグジュアリー』へ大きくシフトする。これは日

本の文化的価値観とも見事に一致する」とソラル氏は指摘する。

例えば、「わびさび」の精神は、時間や文化を超えた深い思索を促す。「茶わんの微妙なゆがみに込められた職人の技は、完璧さとは何かを問いかける。その問いに応える物語や哲学が、商品の価格に対する納得感を生む」とソラル氏。

消費者が感じるこのような価値を最大化し、その先に視点変革の体験や可能性を創り出す存在が、リクスプレナーというわけだ。リクスプレナーは、人生の格上げとともに文化の格上げにも貢献する。

日本人に新しい市場の扉を開く可能性を夢見させる著者その人こそが、リクスプレナーに見えてくる。